

令和5年度 第6回

日南市教育委員会

会議録

令和5年8月24日(木) 午後3時から
日南市役所別館2階会議室7

- 1 会議の名称 令和５年度教育委員会 第６回会議（定例）
- 2 会議日時 令和５年８月２４日（木）
午後３時から午後３時４０分まで
- 3 出欠確認
 - （１）出席委員 都甲政文 黒木由香、別府信一、八木真紀子、佐藤泰信
 - （２）事務局 教育部長兼学校教育課長
学校教育課学校教育担当監
生涯学習課長
学校教育課管理係長
学校教育課管理係主査
- 4 場所 日南市役所別館２階会議室７
- 5 傍聴者 ０名
- 6 開会
【都甲教育長】
「それでは、令和５年度第６回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」
- 7 出席者及び傍聴者確認

【都甲教育長】
「出席者の確認をいたします。教育委員５名全員出席でございます。事務局の出席者の確認をお願いします。」

【田中部長】
「事務局は、全員出席です。」
- 8 活動報告
 - （１）教育長活動報告
【都甲教育長】
・７月２８日、日南振徳高校のバレー・ヨットの子達がですね、インターハイ出場の報告に市長を表敬しました。結果見るとですね、上位入賞とはいかなかったですけど、精一杯頑張ったと思います。

・ 8月1日、第5回の校長会。普段通りの伝達事項の後ですね、この頃、校長同士の協議を入れてまして、この日のテーマは、フレックスタイムの導入の課題、それから学校の働き方改革の取り組み事項について協議をやりました。なかなか校長って学校じゃ孤独ですよ。相談もなかなかできないので、みんな非常にこう活発に意見の交換をしていました。これをですね、またどんどん続けていきたいなと思っています。

その後、私の方から、学校での働き方改革もなんだけど、やっぱりそれぞれ先生達個人個人が何かできることを考えてくれないかと。言えば、教育委員会がやるというのは、正直フレックスタイムぐらいしかできないということで、あとは先生達の個人の取り組みを、そして意識の向上ですね。合わせて今度は、ちょうど水の事故とかあったですよ福岡で。3人小学生が亡くなってましたね。そういうのもあったりしてその安全対策。そして山形で部活帰りの子どもが熱中症で亡くなったですよ、それもあったものですから。

それから不祥事について未然防止、今回高速が通ったので、通勤経路が変わった人もいるんじゃないですかとかね。あれをそのまましていると後から戻入といって手当を戻さなくちゃいけなくなる場合もあるので、事務の先生と一緒に見とって欲しいという話はしました。

・ 8月2日、南浦塾、これ陶芸だったんですけど、小学生ですね、たくさん参加がありました。二部屋でそれぞれ教える先生が違うんですが、作品なんかもちっと様子が違うんですよ。片方は前教育長の奥さんでなんか結構お皿みたいな感じ。片方はつよし寮の人だったんですけど、なんかこう粘土を混ぜ合わせて、ちょっと違ってですね、その他、塾がいろいろあったんですけど、本当これは続けていくといいんだろうなと、一生懸命やってみました。

・ 8月4日、皆さんにも出ていただきましたこども議会、また後で感想聞かせていただきたいんですけど、なんかよくピンとした雰囲気の中で堂々の議員ぶりを見せてくれました。

・ その後、わかすぎ塾ですね、研修会。中学生憲章ができたんですけど、それをどのように活かしていくかっていうテーマでですね、各学校の生徒会役員が討議していました。やっぱり生徒会役員の様子見てると、今の日南の子ども達の様子の何かこう鏡みたいな感じがして、真面目で素晴らしいなと思いました。

・ 8月10日、これ私も知らなかったんですけど、報道もあったんですけど特攻隊の石碑等設置除幕式がありました。人間魚雷回天基地があったのは知ってたんですけど、魚雷を積んで特攻に向かう特攻魚雷艇ってのがあったみたいですね。その訓練基地もあって、石碑を見て101名ほどいらっしまったみたいでその除幕式がありました。幸いその出撃はしなかったらしいんですけど、やはり訓練で亡くなった方とかおられたみたいです。

・ 8月14日、お盆の中日ですけど、小村寿太郎侯の顕彰祭が生誕の碑の前でありました。久しぶりに夜は寿太郎まつりもあったようですね。

・ 8月18日、日南ラビッツバレーボールクラブの子ども達が市長表敬に来られました。県大会で2位になったもんですから九州大会に行くという報告に来ました。今週末に行くみたいです。

・ 8月20日、日南市戦没者追悼式。久しぶりに従来の形で式が行われて、多くの方が参加されて追悼されていました。

・同日、午後からなんですけど、NHKのど自慢。ご覧になった方もいらっしゃると思うんですけど、楽しかったですね。私は前の日から見に行って200組ほど見たんですけど、のど自慢にかける熱い思いとか感じました。やっぱり、どういう人が出るかなと思ってですね、20組、演出をいろいろ考えてるんだなと。病気のお兄さんのためとか、ご夫婦でとか、学校の先生とかですよ、予選を見たからこそなんか本番が非常に面白かったなと思いました。7年ぶり、市長が挨拶したけどなかなか7年の間隔で回ってこないやつで、非常にNHKの方も良い番組になったって言うておられました。

・8月21日、小村寿太郎侯の顕彰弁論大会。黒木委員には審査もしてもらったんですけど、素晴らしかったですね皆弁論が。さすがだなと思いました。また後で黒木委員からもいろいろねお話あると思ってます。

・8月22日、放課後子ども教室地区運営委員会。放課後子ども教室の方々に集まってもらって会議、その後、今度は地域教育協議会で学校地域支援本部のコーディネーターの方々の会議だったんですけど、いろいろ意見を出していただいてですね、さらに充実したものもなればなということでした。

・8月23日、日南市教育講演会。宮崎大学の境教授が「みんなでつくる誰も孤立させない学校教育～子ども、家庭、地域の連携～」という演題で講演していただきました。本当に非常に丁寧に、基本的に不登校のことを話してもらったなと。質問した先生は20年ぐらいのベテランで中堅どころなんですけど、質問した先生は本当にその通りだなと彼はそういう気持ちだったかもしれないけど、私が感じたのは、4、5年目の先生にとっては非常にこれから不登校の子と接する中で参考になる話だったんじゃないかと思いました。

夜ちょっと反省会を講師の先生交えて話をしたんですけど、また今後、学校別で来てもらいたいとかいうふうなことを話したら、声かけてもらったらぜひ来たいっておっしゃったのでお願いしたいなと思ってます。

（２）委員活動報告

【別府委員】

8月4日、子ども議会に参加させていただきました。子ども達の日南市に対する思いだったり、問題点の発表を伺いながら、私自身もですね、多くの気づきをいただくことができました。

続きまして、昨日の8月23日、教育講演会に参加いたしました。境教授の不登校、また、ひきこもりに関する講演で、多くの学びをいただきました。中でも、保護者の支援も必要という話がありまして、ただ、現在の先生方の多忙な状況を考えると、この部分に関しては教育支援の巡回相談員の方々のお力も不可欠になるのではないかなと思いました。

以前、教育支援センターでお話を伺った時に、現在相談員さん単独での訪問ができないということで、先生が同行でないと家庭訪問ができないという話も伺ったので、この辺に關しても、もっと活動範囲を広げてあげることで、またよりよいサポートができるんじゃないかなと感じたところです。

【佐藤委員】

一緒なんですけど、昨日の教育講演会は率直な感想として、フリースクールとかが出てこないのは何でなのかなと。受け皿としてですね、新聞にもですよ、不登校の6割は学校に行かなくてもいいという選択肢は認められてるんだということを知らなかったと。だから不登校の親は、もう一生懸命学校に戻さなくちゃいけないんで、それ以外の選択肢はないんだと思ってたと。もし、それがわかってれば、もうちょっと柔軟に学校にも接していることができたんじゃないかという記事もありまして。

なんでそうなったかっていうと、やっぱりなかなか、この前からお話が出てるようにフリースクールはいどうぞって取って進めるわけにはいかないからですね、その辺の難しさはあるんですけど、でも、やっぱり熱意をもってそういうことを立ち上げられた方がいらっしゃるので、その活用をね、どんなふうに考えてらっしゃるのかなって、反省会でも出なかったですかね。

【都甲教育長】

先生はどちらかというと、大人の引きこもりからスタートしたような先生みたいで。

講演会の中では、新しい学校生活みたいのがあって、後にフリースクールが多分あるんじゃないかなって。自分を確立する自分探しがあって、だから先にある話でそれが出なかったんじゃないかと。

【佐藤委員】

だからですね。あそこなんかね、また何かそういうのができるといいなと思うんですね。

あと子ども議会の方は、立派な会場で、せっかくああいうのがあれば、もうちょっとごめんなさい、さっきの主体的なあれで言うですよ、2回目の質問が出るような何か雰囲気とか手立てとかですよ、議題とか誰も出なかったですよ1回で。どっちかっていうと、市長にばっさり切られてたり、現実には甘くないという、そういう認識はあったかもしれないんですけど、一市民としてですよ、やっても18歳ね投票権もある。その前の子ども達がやっぱり何か市政に行政にいろいろ関わりたいとか、我が日南市をどうにかしたいなというそういう主体的な気持ちに、中にはもうちょっと手加減じゃないですよ、お金がないって結構ね、市長からお金がないお金がないって言われると何か希望がね。

【都甲教育長】

議員さんに負けないぐらいの質問なので、真剣に答えると駄目になっちゃうんでしょうね。子ども達の何かちょっとした夢入っちゃったらいいかもしれないけど。

【佐藤委員】

だから、現実を突きつけられて世の中甘くないと思うのがいいのか。やっぱ、いや、何かしら言うべきことは言った方がいいんだとか、自分達なりにできることあるんだなっていうのを持ってもらえるようなですね中身になると。なんか全滅っていう感じがして、ちょっとかわいそうだし、すいません。

【八木委員】

昨日の教育講演会の方は、やっぱ参加されてる先生達が、本当に目の前で見ている生徒

さん達のことを思い浮かべながら聞いてて、本当に熱心に聞いてたっていうのがとても印象的でした。

あと、子ども議会の方ですね。やっぱさっき言われたように一人一問一答ってもう終わっちゃうっていうのがね、ちょっとすごく市長とか部長さん達から回答いただくとね、もう子ども達も目を輝かせて、本当にいい経験できたと思ったんですけど、そこからまた先にもうちょっと進める議会であっていいのかなと。全国でいろいろやってますけど、例えばワークショップを先にやってそこで討論をさせてから挙げるとか。それとか、研修を受けた学生サポーターが子ども議員の秘書を務めるとか。あと、傍聴者とかもチラシで子ども議員が募集するとか、いろんな取り組みがあるので。中でも八王子市が子ども議員の意見を提言書としてまとめて計画素案を行って、子どもの権利条約にある意思表示をする権利を具現化して、実際にやってるというところもあるみたいです。だから、いろんな発展をいろいろ考えると、さらに子ども議会も発展するのかなと思います。

【黒木委員】

子ども議会も、今年も毎年子どもが感じる日南市の問題っていうのは、やっぱり毎年同じような問題提言する子どもがいるなって感じるので、議員さんも来てらっしゃるので、自分事として市の問題としてね、子どものちょっと思いついた問題じゃこれはないんじゃないかなと思うんですよ。自分のそういった出した問題が、市の問題として取り上げられたっていう何かが出てくると、子ども達もまた新たな自信に繋がったりするのかなと思いつつ、ただ、小規模校の子どもほど特に小学生は大きな声でハキハキと、大きな人数、大規模校の子ども達よりも話していたっていうのがすごい印象的だったのと、やっぱり年々眼鏡をかけて、ちょっと猫背気味な子どもが増えてきたなっていうのを感じた会でした。そういうところも学校での授業の先生気をつけないといけない中、この前テレビ見てたらこう近づくともう鉛筆が出なくなる子どもも出てたみたいで、私はもう何か必要な時代になってきたのかなと思ってみました。

あと、21日の小村寿太郎侯の顕彰弁論大会の審査員を務めさせていただいて、今回初めて出させていただいたんですけど、やっぱり高校生となると、去年まで中学生だった子がこんなに高校生何ヶ月かでこんな発表できるのかっていうくらい堂々とした弁論大会で、書類選考でその選ばれた子達なのでもちろん文章は甲乙つけ難くみんな素晴らしく、そのお題もすごくSDGsだったりとか、世界の平和と安全に貢献すべきとかすごい大きなテーマなんだけどちゃんと自分の経験とか体験を持ってきて弁論している。ただ、その弁論大会なので、どれだけ言葉に気持ちを載せるかっていうところがすごくあって、一位の子と2位の子が大宮高校の、この大会9名、10人本選出るはずで、一人日南高校の子がちょっとアメリカに行っちゃってて今回欠席ということで9名の女子で戦ったんですけど。大宮高校が多くて日南からは日南学園の女の子が一人出てたんですけど、一位と二位だった子ものすごい対照的で、一位の子は広島のもともと幼い頃広島にいて、平和を願うということで戦争はいけないんだよっていうことをつなげていきたいっていうお話で、淡々とこう静かに粛々と話すんですけど私ちょっと涙が出そうになるくらい後半は。そ

の前に二位だった子は自分の男女平等についていうところすごい熱意をもって熱弁する子で、すごい対照的だったんですけどどちらとも心に響く語り口で、ただ時代かなって思ってたんですけど、みんな SNS で発信して SNS でみんなに伝えていくっていうのを、自分のこれからの活動こうやってやっていく話で、その一位だった子は語りで、語り継がれてきたその話を、語りでまたつなげていきたいっていうその SNS じゃないところの気持ちがあったので、ものすごく響いたんだと思うんですよ。平和を願う気持ちってのがすごい伝わってきて満場一致で決まったんですけど、これをぜひ中学生にも聞いてもらいたいなっていうのがあって、一位の子は 10 月にある本選に東京に行くらしいんですけど、もっと中学生に聞いてもらって目標高く持ってもらいたいなというふうに感じた一日でした。

【八木委員】

全員女性ですか。

【都甲教育長】

今回 42 回目やったんですけど、元々日南でやってたんですよ。それを県の奨学会という奨学金のところをお願いしてやってるんですけどね。最初にその出た子どもを 42 年前に連れてきた先生がね、今回審査委員長。たまたまこの小村寿太郎侯の弁論大会で賞をもらったのをきっかけに海外に目が行きだして、今イギリスで大学の先生をして、イギリス人と結婚してね。それぐらいのやっぱりこの弁論大会なんだなって。

これ本当弁論大会久しぶりですよ。こう集まってやったんですけど、やっぱり非常にいいなと思い、初めて見に行ったんですけどね。

あと、さっきから出た子ども議会については、今おっしゃった意見も考えながら来年も考えているんですけど、まず一つはもうちょっと話もしたんですけど、議長もですね中学生にあたりやってもらおうかなと思ってですね。なかなか議会の議長さんもお付き合い願うの大変なので、中学生の議長を連れてきてやってもらって、そしてもう中学生でみんな回すというな形で、そうなってくると少しほぐれる感じもあるんじゃないかなと思ってですよ。

【黒木委員】

この子ども議会の後のわかすぎ塾はみんなそれぞれ各々移動した感じですか。

【都甲教育長】

そうですね。うちが連れていった子達もおります。

【佐藤委員】

後は、わかすぎ塾研修会っていうのは。

【黒木委員】

これが子ども議会でもうちょっと子ども達が意見を出し合えたらいいのになんていうのがこのわかすぎ塾で、子ども達同士でこうディスカッションしたりとかすると和やかな役員というのかな。

【八木委員】

生徒会の役員とかの役員が大体出てるってことですね。

【佐藤委員】

市内の中学生憲章を考えたりすると。

【都甲教育長】

それを考え憲章ができたので、各学校でそれをどう活かしていくか。まずそういうせっかく作った中学生憲章なのでそれをどう活かしていくかっていうのを各学校は真剣に取り組んでくれてて非常にありがたいんですね。各項に一字があるんですけど、それを自分の学校はこの字を取って、例えば「尊敬」の「尊」というのがあってそれを取ってテーマとしてやっていきたいとか。

【佐藤委員】

1年1回だけですか。

【都甲教育長】

このわかすぎ塾はですね、年2回やってて、今回は今の生徒会、そして冬休みは、今度は新生徒会とかなんです。だから2回出るわけですね、生徒会になった子達は。もちろん低学年からやってる子は2～3回ぐらい出るんですけど。これで何かこう、子ども達もこのわかすぎ塾があることによってまた交流も出来ていい経験だとか、なってるのかなと思って。

【黒木委員】

うちの息子とその中学生の時生徒会で、生徒会長でそのわかすぎ塾、子ども議会に参加させてもらって、その時出た子と高校で一緒になったりするし、またその時の話が出たりとか、中学校の生徒会している後輩に今年のわかすぎ塾どうだったとか、子ども議会どうだったとかアドバイスしたり、こうだったよって連絡が来たりっていうのもあるので、子ども達のコミュニティにはすごくいいなと思いました。

【都甲教育長】

そういう意味で夏休み割と小学生は塾で中学生はこういうものとかですね、それなりのものがやれたかなと思っているところです。

9 前回の議事録承認

第5回の議事録について了承

10 議題について

協議1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

(蛸原主査)	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について説明。
(都甲教育長)	黒木先生の評価を見ますと、そんなに悪いことは書かれてないと

思ってですね、また頑張らせてもらいたいと思います。
またご意見をいただければと思います。

協議 2 9月議会上程議案等について

(田中部長)	9月議会上程議案等について説明。(学校教育課)
(長本課長)	〃 (生涯学習課)
(都甲教育長)	これについてはよろしいでしょうか。

1 1 その他

(1) 9月行事予定について

(2) 第7回 教育委員会会議(定例)

① 日時 令和5年9月25日(月) 午後4時から

② 場所 日南市役所別館2階会議室6

(3) 市町村教育委員と県教育委員との意見交換

【蛸原主査】

・事前に教育委員の皆様にご日程調整をさせていただいていたところですが、県より日程の連絡がありました。12月12日(火)15時から17時までで、会場は県庁企業局2階会議室です。宮崎市、国富町、綾町、日南市、串間市の教育委員さんが対象となります。また、18時から20時まで情報交換会を県の方で予定しているということで、会費が一人4,500円ということになります。できればそちらへも参加をお願いしたいと考えております。正式な案内がまた来ますので、そちらで改めてお知らせしたいと思います。

【都甲教育長】

・なかなか今までできなかったものですから、特にその情報交換会は、お時間あればぜひ他の市長村の教育委員と色々な意見の交換をしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

1 2 閉会